



西新潟中央病院

NST NEWS 第24号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2015年11月17日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1303

NST委員会からのお知らせ ～第69回国立病院総合医学会参加報告～

先月10月2日～3日の2日間、ロイトン札幌にて第69回国立病院総合医学会が開催されました。栄養に関する発表も数多く行われていましたが、その中で旭川医療センターが発表されていた、「パーキンソン病患者を対象とした食事への取り組み -朝昼タンパク質分配調整食の提供-」が非常に興味深い内容でしたので報告させていただきます。

1. パーキンソン病の薬、L-dopa は、タンパク質の摂取により吸収が抑制されることが知られている



・ドパストン
・メネシット
・ネオドパゾール
・スタレボ など



肉・魚・大豆など

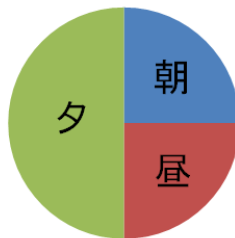


吸収抑制!

2. そこで活動の多い日中(朝食、昼食)は薬の効力を高めるためにタンパク質の量を減らし、夕食を多くした「パーキンソン病食 (PD食)」を作成



・普通食
タンパク質の量は
朝、昼、夕で均等



・PD食
タンパク質の量を
朝食25%、昼食25%、
夕食50%に調整

PD食はリハビリ入院された方に提供され、入院時と退院時のリハビリ評価で特に悪化は見られなかったとのことでした。また自宅での継続を希望した患者さんもいらっしゃったそうです。

実際にこのPD食を提供したことによる病態の変化については今後の検討課題とのことでしたが、新たな治療食の可能性を感じる発表でした。

(文責：栄養管理室 澤田周矢)

ハイネーゲルのパッケージ変更について

濃厚流動食「ハイネーゲル」のパッケージが青色から緑色に変更になりました。成分に変更はありません。



中国からお客さんがいらっしゃいました

11月9日の月曜日、中国の上海交通大学から6名の医師が当院の見学に来られました。

日本の栄養管理や栄養士制度について学ぶために来日しており、貴重な国際交流の機会となりました。

